

山行報告書

日時	2016年10月14日(金)～17日(月)		天候	晴れ
山名	黒部渓谷下の廊下			
CL	高野	参加者	吉永、藤原、田坂	
(コース)	10/14(金) 20時福岡発 10/15(土) 扇沢6:00着:7:30発⇒トローバス⇒黒部ダム7:46着⇒ダム下8:00⇒内蔵助谷出合9:00⇒黒部別山谷出合 10:50⇒十字峡12:40⇒仙人谷ダム14:20⇒阿曾原温泉小屋15:40:宿泊 10/16(日) 阿曾原温泉小屋6:40発⇒折尾大滝8:10⇒志合谷トンネル9:20⇒太鼓岩9:45⇒樺平11:30着:11:45発⇒ トロッコ列車⇒宇奈月温泉13:04着:ホテル泊 10/17(月) ホテル発8:00⇒福岡20:00着			
(コメント)	<p>今秋には珍しく曇一つない晴天の三日間だった、黒部ダムの観光放流も15日が今年最後で見る事が出来幸運続きの山行となった。狭い回廊を伝っていくと初めに丸山東壁が現れるが周りが大きいので小さく感じた。水平歩道はアップダウンもあり狭い所をバランスが悪くなった私は針金を張り巡らした手すりを殆ど握って通過しなければならなかったが、高野、田坂、藤原さん達は殆ど掴むことなくすいすいと通過していく、今年計画をしてくれて良かったとつくづく感じた、来年であればもう行けなかったかもしれない。やはり行きたいときがチャンスと思った。高野さん、田坂さんは遅れる私を随所で待ってくれ、藤原さんは水を飲まなくちゃと後ろから何時もフォローしてくれた。名高い十字峡の水の青さは印象的だった、そしてやっと着いた阿曾原温泉小屋、以前は小屋の近くと思ったものだったが今は露天風呂まで遠く感じたが昔と同じ気持ちのいいお湯であった。二日目の樺平への道は幾分広かったが大太鼓から奥鐘山西壁は切り立った水平道から見ると物凄い迫力だった。下山のトロッコ列車からの紅葉はいまいちだったのが念願の下の廊下に行けて、メンバーに感謝している。(記;吉永)</p> <p>山の会のMさんが昨年、奥様と「下の廊下」を予定していたが雪が多くて行けなかったとの事。凄いなんだと思っていたら例会で吉永さんのphraseに参加する事に決めた。「中々行けない所だから行ける時に行っておかなくては」と。まさにその通り。さて憧れの水平道はというと私的には...混み合っていた。団体さんやグループやらですれ違うのに緊張した。紅葉には少し早かったが憧れの水平道、楽しい4日間であった。重たかったであろうザイルを担いで下さったリーダーの高野さんお世話になりました。吉永さん田坂さん...皆さんありがとうございます。又一緒にさせて下さいね。藤原 山行報告は以上ですが大変でしたら削って下さって結構ですので宜しくお願いします。(記;藤原)</p> <p>今年は紅葉がかなり遅く、まだまだ青葉だったのが残念でしたが、憧れの下ノ廊下を楽しんで来ました。岩盤を削った細い道にもワイヤーが張ってあり、スリップ防止に道の端に木が固定してあるなど良く整備されていて、こんな狭い場所ですら作業したのかと驚かばかりでした。初めは渓谷の美しい風景に感動したり、紅葉し始めた樹々に目を奪われたりしながら歩いていたはずが、歩いても歩いても変わらない景色に黒部の谷の深さを痛感し、「そろそろ歩き飽きたなあ」と呟いてみたり...黙々と歩いて8時間、やっと小屋が見えた時にはホッとしたものです。初めてのアルプスの紅葉は見られませんでした。参加者の皆さんのお陰で往復の車の中から下山後の温泉宿まで、楽しい旅となりました！ありがとうございました。(記;田坂)</p> <p>昨年は雪が多く入渓が出来なかった下の廊下も、今年は雪が少なく早くから入渓できたことから、思い立って参加者(吉永さん、藤原さん、田坂さん)を募り下の廊下に行ってきました。今年最後の黒部ダム観光放水に見送られ、下の廊下を歩くも、紅葉は始まりかけで、歩き始めは周りの景色や作られた山道に物珍しさを感じていたが、あまりにも変化がない景色や山道にもういいかなあと思っていた頃にやっと阿曾原温泉小屋に着きホッとしました。小屋では布団1枚に2人と混雑していましたが、野天風呂には満足しました。翌日は樺平に向けて前日と同じような山道を歩きました。今回の下の廊下の全体を通して、多少危険な場所もありましたが、参加者全員が何事もなく無事に下山できたことは、参加者皆さんのご協力のおかげです。ありがとうございました。(記;高野)</p>			
費用概算	(交通費・宿泊費・その他/人)		約 45,000円	

